

船舶事故調査報告書

平成27年2月19日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成26年10月8日 三重県伊勢市大淀漁港 ^{おいず} 出港時刻～05時56分ごろの間）
発生場所	不明（大淀漁港～伊勢市豊北 ^{とよきた} 漁港付近の間）
事故調査の経過	平成26年10月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 かもめ丸、1.4トン ME3-63984（漁船登録番号）、個人所有 7.19m(Lr)×2.17m×0.84m、FRP ガソリン機関、60kW（動力漁船登録票による）、平成17年7月1日
乗組員等に関する情報	船長 男性 71歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年4月2日 免許証交付日 平成25年12月2日 （平成31年8月2日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船底部に擦過傷
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成26年10月8日早朝、大淀漁港を出港した。 本船は、無人の状態で豊北漁港北方の海岸に打ち上げられているところを付近住民により発見され、05時56分ごろ警察へ通報された。 海上保安庁は、06時03分ごろ警察からの連絡を受け、漁業協同組合（以下「本件組合」という。）へ連絡を行い、巡視艇及びヘリコプターで付近海域を捜索していたところ、08時05分ごろ付近住民から、豊北港防波堤付近に漂流者がいるとの通報を受け、08時30分ごろ、船長を救助した。 船長は、病院へ搬送されたが、溺死と検案された。 （付図1 事故発生経過概略図 参照）

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 曇り、風向 南南西、風力 2 海象：波向 西、波高 約0.5m、海面水温 約24℃</p>
<p>その他の事項</p>	<p>三重県松阪市松阪港における潮汐は、満潮が05時32分ごろであり、本事故発生場所付近には、06時00分ごろ0.2～0.5ノットの流速で南東方向に流れる潮流があった。</p> <p>本船は、発見時、機関が停止しており、他船と衝突したような痕跡は認められず、船内に漁獲物はなかった。</p> <p>船長は、約10年の漁業経験を有し、ふだん、一人で刺し網漁業を行っており、海岸から約1海里離れた大淀漁港北東方海域で作業することが多く、健康状態に問題はなかった。</p> <p>船長は、発見時、外傷は見られず、カッパを着ていたが、救命胴衣は着用していなかった。</p> <p>本事故当日、本船の目撃情報はなく、船長の家族は、船長が早朝出漁することは知っていたが、自宅を出るところを見ていなかった。</p> <p>本件組合は、定期的に所属組合員を集めて会合を持ち、安全講習を行って救命胴衣の着用の徹底に努めていたが、船長は準組合員であり、同会合に参加しないことが多かった。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、船長が1人で乗り組み、早朝に大淀漁港を出港した後、無人の状態で大淀漁港北方の海岸に打ち上げられているところを発見され、05時56分ごろ通報されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられる。</p> <p>船長は、本船の機関が停止していたことから、作業予定海域付近へ到着した後に落水した可能性があると考えられるが、落水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、大淀漁港を出港した後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命胴衣を着用すること。 ・一人乗りの漁船では、携帯型の救急通信装置を装備することが望ましい。

付図1 事故発生経過概略図

